

まずはお気軽に応募相談に お申し込みください

本制度は大学等の「技術シーズ」の社会実装・イノベーション創出を目指す、
ベンチャー企業等を対象としています。
革新的な製品・サービス創出に向けた開発を、JSTが開発費の貸付により支援します。

なお、応募にあたってはJSTへの事前の応募相談が必要です。
応募相談は通年で受け付けており、随時選考・採択を進めます。

初回ご相談にご用意いただく内容

- 1 企業概要
(様式自由)
- 2 開発実施計画の概要
(本制度での開発内容)
- 3 技術シーズの
基本情報

※相談が進んだ段階で事業計画・返済計画・決算報告書等をご提出いただき、
JSTが事業計画・返済計画等の妥当性を確認します。

制度詳細

詳細はWebサイト掲載の公募要領を必ずご確認ください。

Webサイト

A-STEP 実装支援

<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/hensai.html>



説明資料



お申し込み

応募相談 / その他ご質問はこちらから



応募相談お申し込み
Webフォーム



JST A-STEP実装支援担当
jitsuyoka@jst.go.jp

A-STEP 実装支援 返済型

大学等の研究成果の社会実装を目指す開発を、
開発費(上限5億円)の貸付により後押しします。



ベンチャー企業を随時募集中。

実用化開発に取り組む、

Q

uestion

このような資金調達のお悩みはありませんか？

大学の研究成果を社会実装させるために開発費がほしい



今後は出資による株式希薄化を防ぎたい

次の資金調達ラウンドまでのつなぎ資金を確保したい

A

answer

ベンチャー企業等による、大学等の研究成果（技術シーズ）の社会実装を目指す「実用化開発」を、**開発費（上限5億円）の貸付**により支援します

本制度は、大学等の「技術シーズ」の社会実装・イノベーション創出を目指す、ベンチャー企業等を対象としています。革新的な製品・サービス創出に向けた開発を、JSTが開発費

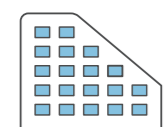
の貸付により支援します。期間は**最長3年間**、**上限5億円**の開発支援により、技術シーズの早期社会還元を目指しています。

Point 1

◆ 本制度の特徴 ◆

制度の仕組み

科学技術振興機構 (JST)



開発費を貸付
開発に関わる設備投資や人件費、その他必要な資金に活用可能！

ベンチャー企業等



社会実装に向けて実用化開発

大学等



技術シーズ

事後評価結果に基づき返済
(基本的には全額返済)

実用化開発に取り組む**ベンチャー企業等**が支援対象です

- 対象企業
- 未上場または新興市場のみに上場していること
 - 中小企業基本法等の「中小企業者」に該当すること

- 対象の案件
- 技術シーズがあること
* 社会実装を目指す事業または開発に活用されていること。
 - 製品開発や生産技術の確立等、何らかの開発要素があること
* 医療分野は対象外となります。

「技術シーズ」とは？

以下を満たす研究成果のことを指します

- 〔 大学等に所属する研究者の発明等に基づく知的財産であること 〕
- 〔 企業が利用する権利を有すること (所有者は企業、大学等いずれでも可) 〕

Point 2 ◆ 返済条件 ◆

事後評価結果によって返済条件が異なります

高評価

- S** 期待を大きく上回る開発成果が得られた
- A** 期待した開発成果が得られた
- B** 展開の見込める開発成果が得られた
- C** 展開の見込める開発成果は得られなかった

全額を10年以内に分割返済(無利子)のうち最長3年間の返済猶予あり

10%を返済(90%は返済免除)

Plus

メリット

銀行等の融資に比べて利用しやすい

開発費の上限 **5億円**
(最長3年間の総額)

利率 **無利子**

担保・保証 **10%**
(開発開始時、条件あり)

返済期間 **10年**
(うち最長3年間の返済猶予あり)

Schedule

応募相談後の流れ

随時実施

応募相談・選考

初回ご相談では、企業概要のような簡単な資料のみご用意いただけます。その後、必要書類をご提出いただき、JSTが事業計画・返済計画等の妥当性を確認します。

★ 初回ご相談では申込書や事業計画、返済計画は**不要**
▶ 詳細は次のページをCheck!

JSTによって妥当性が確認された後、応募・選考に進んでいただけます。形式審査、書類選考、面接選考を経て、採否が決定されます。

開発開始

開発実施計画書を作成いただきます(開発期間中に達成すべきマイルストーン目標、開発終了時に達成すべき開発目標を設定)。
開発委託契約を締結し次第、**随時開発を開始**いただけます。

開発期間

最長3年間

マイルストーン評価

JSTは開発期間中に、「マイルストーン目標の達成度」「事業化の可能性・イノベーションインパクト」の2項目を踏まえ、総合評価を実施します。

- ▶ 開発継続可: 開発を継続し、開発費残額の使用が可能。
- ▶ 開発継続不可: 開発を終了し、開発費の10%を返済。

開発終了

開発成果をとりまとめ、「開発実施報告書」を提出いただけます。

開発終了後

事後評価

JSTは、「開発目標の達成度」「事業化の可能性・イノベーションインパクト」の2項目を踏まえ、総合評価を実施します(高評価順にS、A、B、Cの4段階評価)。
※S、A、B評価の場合には、開発成功認定証を授与します。

開発成果を使って事業化

開発成果を利用して、**事業化を進めて**いただけます。
事後評価結果に基づき予め締結した返済契約の下、**JSTに開発費を返済**いただけます。